

Pro Edition

バイヤーズガイド





目次

なぜ現在、制作をとりまく環境や
ビジネスニーズが、
シームレスなクリエイティブ
プラットフォームと
制作プロセスを必要としているのか
を解き明かします。

はじめに	03
クリエイターの職場に見られる傾向	04
Proエディションのご紹介	06
クリエイティブツール	07
クリエイティブワークフロー	08
法人向けの仕様	09
グループ版Proエディションと エンタープライズ版Proエディションの比較	10
Proエディションへのアップグレードをお勧めする5つの理由	11



はじめに

現在は、コンテンツ制作が非常に難しい時代です。このガイドでは、1,500人のクリエイターとそれを支えるIT責任者が考える大きな課題とニーズ*について、調査の結果わかったことを詳しくご紹介します。*小規模組織から大規模組織に至るまで、世界中の組織が制作現場で抱えている問題、そして今後改善を期待している点についてご理解いただけることでしょう。

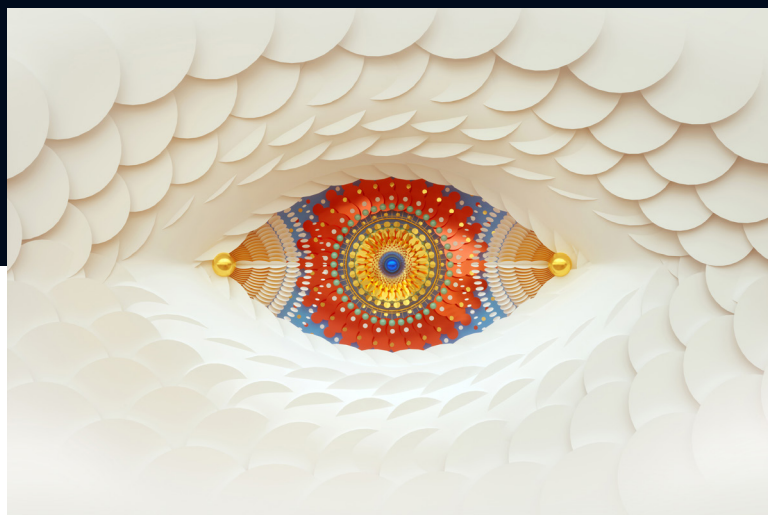
最も注目すべき点は、オフィスワークとリモートワークが混在する中で様々なチームがコンテンツ制作に関わっているため、共同作業や一貫性の維持、コンプライアンスの遵守が非常に難しいということです。しかも、ソーシャルメディアに後れを取らずに対応することはますます難しくなっており、制作チームの機動力を確保しておく必要性がこれまで以上に高まっています。

制作チームと責任者が現在の状況についてどう考えているかを、ぜひ次ページ以降で詳しくご覧ください。また、Adobe Creative Cloudに新たに追加された法人向けのProエディションを使用して、組織力を強化する方法についてもご紹介します。法人向けのProエディションでは、迅速なコンテンツ制作、ブランドの一貫性確保、潜在リスクの低減、容易な予算編成を実現できます。

無限に広がる創造性

2億点以上の写真、ベクター、イラスト、テンプレート、3D素材 — そのすべてを利用して、使い慣れたCreative Cloudアプリでアイデアを形にすることができます。

Proエディションは5人以上のユーザーがいるグループおよび企業向けのプランです。



クリエイターの職場に見られる傾向

ハイブリッドな仕事環境で高まる複雑性

オフィスとリモートが混在するハイブリッドワークモデルは、柔軟な働き方で生産性の向上を図れるものの、コンテンツ制作やクリエイティブワークに関わる人の仕事を増やすことにもなっています。IT責任者と制作チームが口を揃えて言うのは、職場が分散したからといってこれまで組織で生じていた問題がなくなるわけではないということです。

78% 素材の使い方の一貫性を維持することが以前より難しくなったと回答

76% 所属するチームで同じ素材を何度も購入したことがあると回答

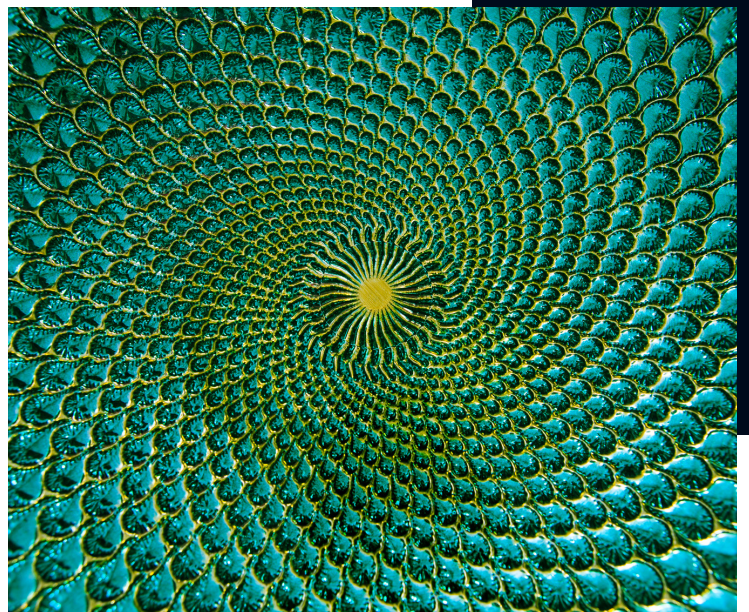
迅速なコンテンツ制作が必要

制作チームはソーシャルメディアのパブリッシュのペースに後れを取るまいと急いで対応することが少なくありません。コンテンツに対する期待値の高さから、効率的なコンテンツ制作、共同作業、出力を支えるプラットフォームを求めるニーズが加速度的に膨らんでいます。

86% 対象となるお客様の関心に応え続けることが難しいと回答

81% 制作するコンテンツが増える一方で納期は短くなっていると回答

84% ワークフローに効率化の余地があると回答



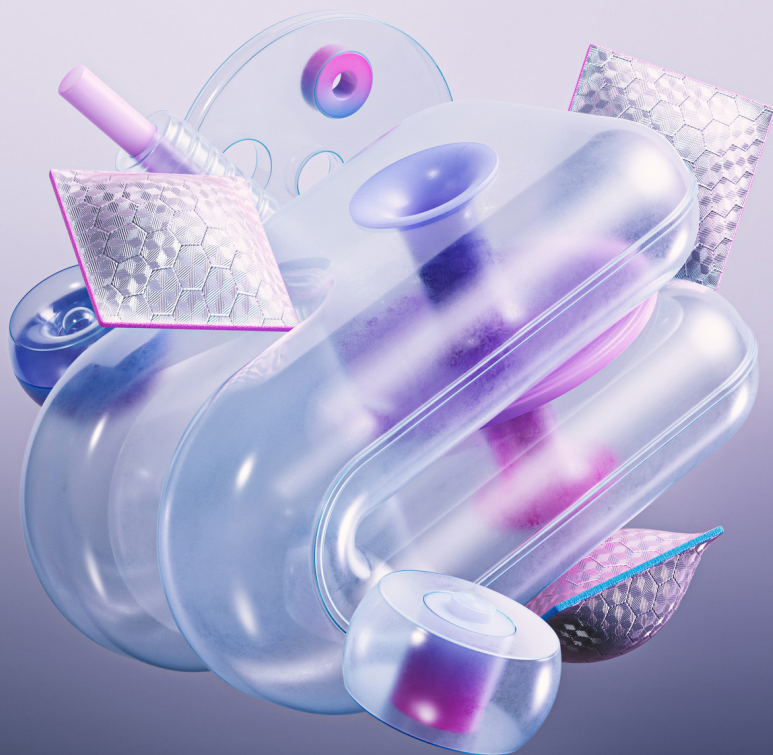
クリエイターの職場に見られる傾向

コンテンツ制作に関わるチームの増加に伴い ブランドイメージの統一やコンプライアンスの 遵守が困難に

社内のクリエイター、広告代理店、正社員や非正規の従業員、業務委託のフリーランスなど、チームの規模が拡大すると、組織としては迅速性、多様性、オリジナリティといったニーズに対応しやすくなります。しかし、このような体制で仕事を進める場合、コンテンツの一貫性を維持することも、ブランドイメージを保つことが難しくなります。

制作チーム以外にブランドコンテンツを制作する部門が増加

デジタル部門	55%
マーケティング部門	54%
通信部門	38%
営業部門	38%
カスタマーサービス部門	32%
オペレーション部門	29%
人事部門	24%



古くなった素材の使用で時間とコストの無駄が発生

79%

古くなった素材が使用されていたことが原因でプロジェクトの作業のやり直しを経験

ライセンスを取得していない素材の使用によるコンプライアンス違反のリスクが拡大

63%

所属する組織でライセンスを取得していない素材を使用したことがあると回答

1/3

過去1年の間にライセンスに関する問題が悪化したと回答

Pro エディションのご紹介

Creative Cloud に新しく追加された法人向けの Pro エディションでは、2 億点を超える Adobe Stock のアセットを無制限にご利用いただけます。Adobe Stock の通常画像のコレクションは、写真、デザイン、ビデオ、web、UX などの制作にご利用いただいている Creative Cloud のデスクトップアプリとモバイルアプリに統合されており、各アプリからシームレスにアクセス可能です。



クリエイティブツール

- Creative Cloud のアプリとサービス
- Adobe Stock の無制限アクセス*

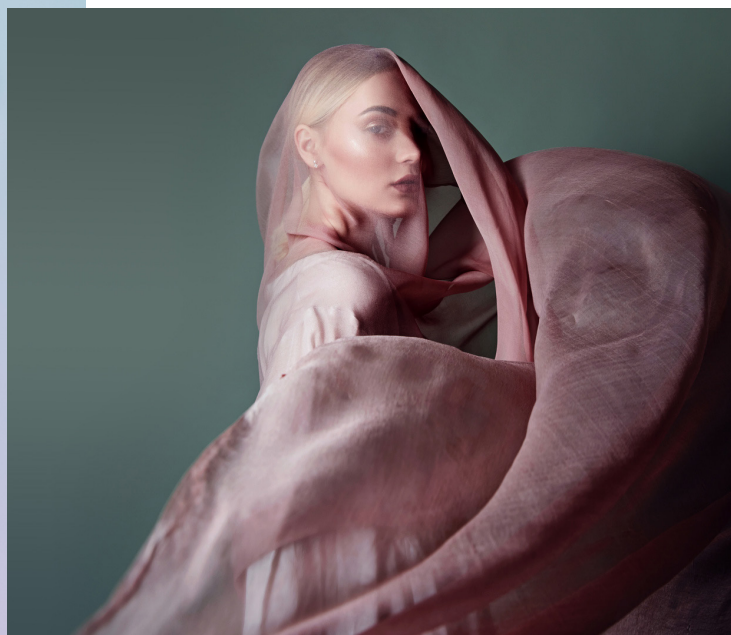
クリエイティブワークフロー

- Creative Cloud ライブラリ、ファイル、ストレージ
- Creative Cloud とサードパーティ製ツールの連携

法人向けの仕様

- Admin Console による一元管理
- ライセンス取得履歴をまとめて管理
- 法人利用に最適なライセンス
- 素材の管理とコンプライアンスの遵守
- 充実のサポート

*通常画像（写真、イラスト、ベクター）、一部の3Dとテンプレート（エンタープライズ版は、一部の3Dとテンプレートは今後提供予定）。





クリエイティブツール

Creative Cloudのアプリとサービス

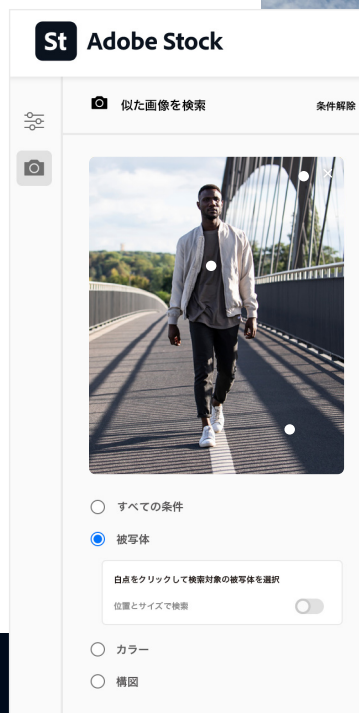
20以上のデスクトップアプリ、モバイルアプリ、各種サービスを、写真、デザイン、ビデオ、web、UXなどの制作に活用できるため、チーム全体の制作ニーズに応えられます。ProエディションはCreative Cloudのコンプリートプランと単体プランのどちらでもご利用いただけます。



Adobe Stockの無制限アクセス

2億点を超える画像、ベクター、イラスト、3D素材、クリエイティブテンプレートを集めたAdobe Stockの通常コレクション全体に、無制限にアクセスできます。

- 透かしのない高解像度素材を使用して、すばやく効率的にコンセプトとモックアップをデザインできます。
- 白紙ページから始めなくても、プロのクリエイターが作成したレイヤー使用のデザインやデザインテンプレートを使用すれば、すぐにカスタマイズして制作を開始できます。
- Adobe SenseiのAIテクノロジーを活用した検索機能により、類似の画像、見た目、カラー、コピースペースなどの条件で絞り込んですばやく検索できます。
- Adobe Stockで頻繁に使用するデザイン要素を集めたカスタムライブラリを作成、共有して、プロジェクトをスピーディに進めることができます。



ストック素材は時間とコストを節約できるためキャンペーンで果たす役割が拡大

91%

ストック素材を利用するとキャンペーンを開始するまでの時間を短縮できると回答

84%

ストック素材を使用するとキャンペーンのコストを削減できるという意見に同意

75%

過去1年以内にストック素材を使用

60%

今後3年間でストック素材のニーズが拡大すると予想



クリエイティブワークフロー

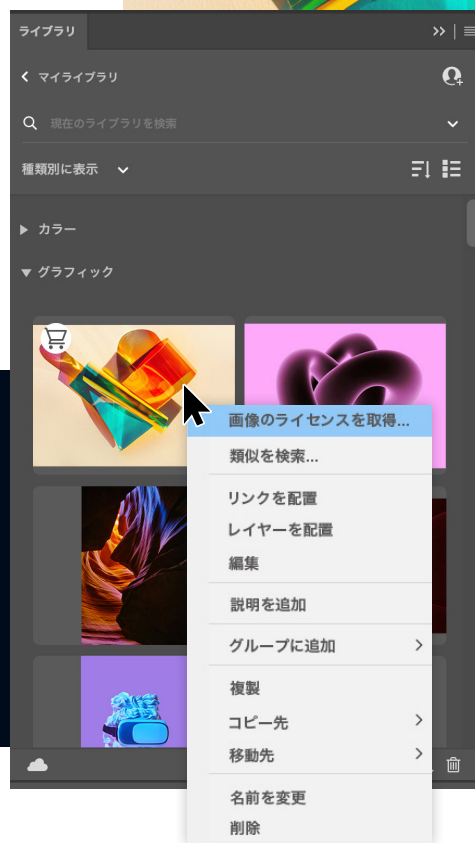
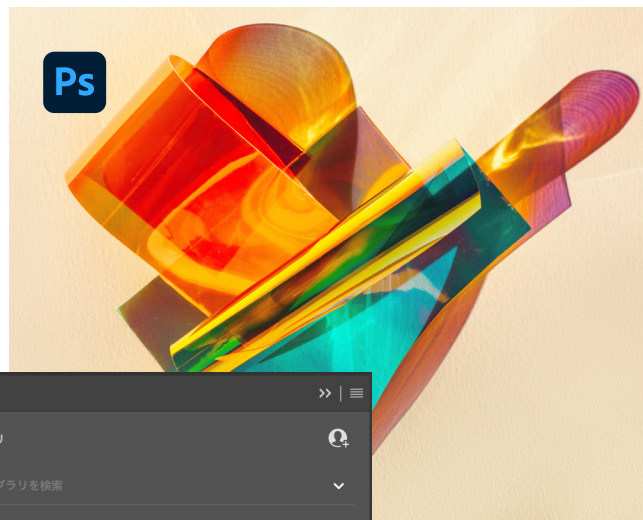
Creative Cloud ライブラリ、ファイル、ストレージ

クリエイティブ素材やファイルを簡単に保存、利用、整理して、デバイスを問わずチーム間で共有できます。

- カラーパレット、文字スタイル、ロゴ、画像など、頻繁に使用するクリエイティブ素材をライブラリにまとめて保存できます。
- デバイスを問わず、どのアプリからでも、プロジェクトごとに使用頻度の高いデザイン要素にすばやくアクセスできます。
- ライブラリはチームメンバーや社外のパートナーと簡単に共有できます。
- 読み取り専用の権限と編集権限を使い分け、制作作業を効率的に管理できます。

Creative Cloud ライブラリで、全体として8倍の速度で作成

Pfeiffer Consultingのベンチマーク調査によると、Creative Cloud ライブラリを使って素材と設定を共有した場合、制作チームの生産性が大幅に向上します。²



Creative Cloudとサードパーティ製ツールの連携

- Adobe StockとCreative Cloud、Microsoft PowerPointの連携：ご利用のアプリ内でクリックするだけで、すべての素材を検索し、必要な素材のライセンスを購入できます。
- Creative CloudとSlack、Microsoft Teamsの連携：クリエイティブ素材やファイルについては、日常的に使用している共同作業ツールでコメントやアップデートを共有、プレビューし、常に最新の状態を把握できます。

² Pfeiffer レポート：ベンチマークの分析。Adobe Creative Cloud ライブラリ：制作チームの創造性を加速。2019
<https://www.pfeifferreport.com/wp-content/uploads/2020/01/Adobe-Creative-Cloud-Libraries-Benchmarks.pdf>



法人向けの仕様

Admin Consoleによる一元管理

Creative CloudとAdobe StockのすべてのライセンスをひとつのAdmin Consoleで購入、デプロイ、管理できます。

ライセンス取得履歴をまとめて管理

Adobe Stockではチームのライセンス取得履歴が一元化され、ライセンス取得済みのバッジが付けられているため、どの素材のライセンスを所有しているかがひと目でわかり、同じ素材を再度購入せずに済みます。

法人利用に最適なライセンス

Proエディションプランで、クリエイティブを無制限に作成できます。エンタープライズ版Proエディションには、素材を使用して再販用や配布用の商品または製品のメインビジュアルとして制作できる追加の権利が付属しています。

素材の管理とコンプライアンスの遵守

- 制作チームの全員が無制限にAdobe Stockにアクセスできるため、次の懸念を払拭できます。
 - アセットのライセンス取得の承認/管理
 - ライセンスを取得していない素材の使用
- ライセンスを取得したAdobe Stockの素材は契約企業の所有となるため、メンバーに入れ替わりがあっても引き続き利用できます。
- Creative Cloudライブラリなら、チームメンバーが組織を離れた後も、クリエイティブ素材はそのまま組織に残ります。

必要なときにいつでもサポート

エキスパートが1対1で対応するテクニカルサポートをユーザーごとに、年単位で利用できます。



「何週間もかけなくても、ほんの数時間で特定の業界に訴求できる画像が見つかるAdobe Stockは、今ではチームに無くてはならない貴重な存在です」

— Philip Stockton 氏
GE Digital、シニアクリエイティブディレクター

グループ版 Pro エディションと エンタープライズ版 Pro エディション の比較

ニーズに合わせて最適なプランをお選びください

Pro エディションは5人以上のユーザーがいるグループおよび企業向けのプランです。

	グループ版 Pro エディション	エンタープライズ版 Pro エディション
	Creative Cloud グループ版をご利用のお客様は、更新時に Pro エディションへ移行いただくと、初年度の金額は既存のサブスクリプションの単体プランまたはコンプライトプランと同じ金額で最大1年間、ご利用いただけます。	Creative Cloud エンタープライズ版は、ユーザー管理、セキュリティ、サポートの強化を必要とする組織に最適なプランです。
利用できる ID タイプ (ユーザー認証)	Adobe ID	Adobe ID、Federated ID (SSO)、Enterprise ID
法人向けサポート	ライブテクニカルサポート セルフサービスの導入サポート	ライブテクニカルサポート (Admin Console でチケットを作成可能) パーソナライズされた導入サポートと継続的なサポート
Adobe Stock		
ライセンスの利用と共有	契約企業の従業員	国や地域をまたいだ組織全体 (関連会社を含む) の従業員および業務受託者すべて (VIP エンタープライズ版の場合は契約企業の従業員で共有いただけます)
グループ/プロフィールレベルのユーザーアクセス管理	--	あり
管理者向けレポート	--	あり
一括ライセンス	--	あり
ライセンス取得履歴	web で閲覧	web で閲覧、絞り込み、CSV 形式に書き出し
Adobe Stock ライセンスのタイプ ³	強化ライセンス：通常ライセンスで許諾されるすべての素材使用权。さらに、500,000 コピーまたは印刷部数、閲覧数の制限を超えて素材を複製可能	拡張ライセンス：強化ライセンスと同じ権利。さらに、素材を使用して再販用や配布用に商品または製品のメインビジュアルとしてアセットを利用した制作が可能。この場合、製品の主な価値は素材そのものに関連したものである (マグカップ、Tシャツなど)
包括補償	上限10,000ドル	エンタープライズタームライセンス契約 (ETLA) あり バリューインセンティブプログラム (VIP) 上限10,000ドル

³ Adobe Stock ライセンスのタイプ：Adobe Stock ライセンスのタイプについて詳しくは、<https://stock.adobe.com/jp/enterprise-conditions> をご覧ください。

Pro エディションへの アップグレードを お勧めする5つの理由



1. 画像、ベクター、イラスト、3D素材、クリエイティブテンプレートをチームメンバーが無制限にダウンロードして自由に使用できます。
2. 無制限にアクセス可能なため、ストック素材購入の承認を取り付ける必要や、承認を管理する必要はありません。
3. Creative Cloud ライブラリを利用することで、より確実にブランドの一貫性を維持できます。
4. 予算を事前に把握するとともに、素材の重複購入を回避して余分な費用を削減できます。
5. 規模の大きなチームや多種多様なチームに素材へのアクセスを提供し、無制限にダウンロードできるようにすることで、ライセンスを取得していない素材の使用や、それに伴う法的リスクを最小限に抑えられます。

無限に広がる創造性を、ぜひ手に入れてください

次のステップ：お電話にて詳細をお問い合わせください。
デモのご予約も承ります。

グループ版 Pro エディション：0120-921-104

エンタープライズ版 Pro エディション：0120-921-104

データ出典

業界状況調査 (米国、英国、ドイツ、日本、オーストラリア・ニュージーランド地域)

Edelman Data & Intelligence Survey, 2021年3月

回答者数1,509人：クリエイターおよびデザイナー502人、制作・マーケティングに関する決定権者504人、IT管理者およびITに関する決定権者503人。

世界のクリエイティブに関する年次調査 (米国、英国、ドイツ、フランス)

Adobe, **State of Creativity**, 2020

回答者数1,600人：米国600人、英国500人、ドイツ250人、フランス250人)